

第1回倉吉市教育委員会 定例会 会議録

- 1 日 時 平成28年1月27日(水)
- 2 場 所 倉吉市役所 第3会議室
- 3 出席者 14人(教育長、教育委員4人、事務局9人)

会 議 の 経 過

- 1 開 会 午後3時
(福井教育長) これより第1回教育委員会定例会を開会する。
- 2 前回議事録承認
- 3 議事録署名委員の選出 福井委員
- 4 協議事項 会議の進行の都合により、進行の順番を変更することの了解を得る。

(1) 平成27年度倉吉市教育委員会表彰について

教育総務課長 (資料に沿って説明)
委員 「少年の主張」鳥取県大会で今あがっている賞の他には、どのようなものがありましたか。

教育総務課長 「少年の主張」鳥取県大会で言いますと、最優秀賞として鳥取県知事杯、優秀賞として鳥取県教育長杯、鳥取県議会議長杯、鳥取県市長会長杯、鳥取県町村会長杯、NHK鳥取放送局長杯、各1人、優良賞6人が入賞しております。それで、最優秀賞を取られた方が県代表として中国四国ブロック大会に出場され、またこの中から全国大会へということになるかと思えます。

平成25年度に全国大会に行かれた方が教育委員会表彰を受賞されています。

教育長 なお、補足しますと、倉吉西中にも優良賞を受けている生徒がおりますが、学校からは基準にあたらぬことだろうということで推薦はあがってきません。

12人の入賞者の中に倉吉の子が4人ということで嬉しいことですね。
(少年の主張県大会は)教育長杯ということで決定してやりたい気持ちはありますが、これより上位の賞がありますので、案のとおり、2番、4番、8番、9番の4人を受賞者の該当ということで、承認いただけますでしょうか。

(各委員異議なし)・・・承認

教育総務課長 なお、こちらの表彰式につきましては、2月16日(火)4時半より、市役所大会議室で、打吹公園だんご教育奨励賞表彰式と合わせて行うこととしておりますので、また、ご案内の方はさせていただきますけども、ご出席の方よろしくお願いたします。後のカレンダーの方にも出てまいりますので、ご確認いただければと思います。

(2) 第2期倉吉市教育基本計画について

教育長 次に、第2期倉吉市教育振興基本計画素案について、説明をお願いします。

教育総務課長

これまでの経過、今後の予定について説明。

今回提出させていただいているものがよろしいということになりましたら、2月3日開催予定の、市役所の中で政策企画重点施策等を審議する市長が召集する会である「企画審議会」に提案したいと思います。

その後、市民の皆様へのパブリックコメントを開始すると共に、市議会の方へもこの資料を配布させていただき、3月議会で議論をいただければと思っています。

それをふまえて、3月の定例教育委員会で最終的に決定と、その後同日になろうかと思いますが、総合教育会議を開いて、計画から抜粋したものになりますが、重点施策を取り入れた今後5年間の倉吉市教育に関する施策の大綱の策定になろうかと思っています。

提案し決定した段階で、平成28年度4月からスタートさせていただければと考えております。

教育長

今後の日程であります、承認いただきましたら、2月3日の企画審議会に提案させていただき、その後市民へのパブリックコメント、市議会への提案、3月の議会で議論していただきながら、3月下旬の教育委員会でまとめ、これをベースに教育大綱をまとめることになろうかと思っています。

市長との総合教育会議は、3月にやらなくてはいけないのかどうか？

市長との思いをすり合わせていくこととなりますが、4月の終わりか5月ではどうか。3月中になると、市長の日程もなかなか取れないかもしれませんし、3月中でなくてもいいかなと思いますがどうでしょうか。

教育総務課長

今回の2月の教育委員会で相談させていただくことといたしましょうか。

教育長

それでは、そのようにいたしましょう。

資料を前もって配布させていただくことができず申し訳ありませんでした。前回見ていただいておりますので、「策定にあたって」からの新しい部分を説明いただけますでしょうか。

教育総務課長

まず、各課にまたがる全体の部分で言いますと、今まで見ていただいておりますので、委員の皆さんから意見をいただいた部分を修正加筆したものがP.21以降の重点施策となります。

今回新たに付けさせていただいた部分がP.1の「策定にあたって」で、P.2が「倉吉教育の現状と課題」。P.3以降が今までの振興基本計画のこの5年間の現状と課題をのさせていただいております。

個々につきましては、各課で説明をさせていただきます。

教育長

それでは、P.1から見ていきましょうか。

施策の体系図が新しく付きましたね。「倉吉教育の現状と課題」、学校教育、社会教育、「教育理念・教育目標」「重点施策」「教育委員会の機能強化」「教育環境の整備充実」「学校の適正配置の推進」という流れで、それぞれ創生総合戦略会議、次世代育成支援行動計画で策定された計画や、取り組みの部分も取り入れたものになります。

教育総務課長

ここで、一つ訂正いたします。P.2 教育次長→事務局長、関金資料館 削除、1行目市立小学校15→14校、組織構成図の中も 小学校15→14校となりますので、訂正をお願いします。

学校教育課長

P.3「幼児教育の充実」(資料に沿って説明)

- 委員 P.3・4 の表現は「必要になってきています」とか「していく必要があります」という問題定義のような表現になっています。
- 学校教育課長 こちらでは、「現状と課題」ということでこのような表現になっています。ここでは「していく必要があります」と書かせていただいて、施策の方でカリキュラムを作りますと書かせていただいています。
- 学校教育課長
教育長 P.4「豊かな心の育成」(資料に沿って説明)
P.4「豊かな心の育成」については、文字が多くてわかり難いので、「不登校」「いじめ」「問題行動」「人権同和教育」「朝読書・道徳」とか、改行するか小見出しを付けるかして、わかり易いようにしましょう。
一番大きな課題は、不登校だと思いますので、これを何とかしなくてはいけないと思います。また、P.5の上の成果指標では、平成24年度の数値がずっと尾を引いていますね。それから、その表の下のグラフの方では、平成15年度から18年度が低い出現率となっていますが、何か違いがあったのでしょうか。
- 学校教育課長 言われるようにその間は低い出現率となっており、棒グラフの方も低くなっています。長期欠席とは30日以上欠席したことをいいます。長期欠席人数の中には(理由として)病気、経済的理由、不登校、その他(家庭の事情)の4つあります。経済的理由で30日欠席というのはありません。そこが下がっている理由としては、長期欠席者自体はそんなに減っている訳ではありません。「不登校」ではなく「その他」の方に該当をさせていたという事があったようです。「その他」の理由であれ、どういう理由であれ、市の方では、現状をきちんと見極め、不登校なら不登校と捉え、長期欠席全体の児童生徒に適切に対応していきたいと考えています。
- 教育長 捉え方によって、全体の長期欠席者の数は変わってないのだけでも、分類の仕方によって、不登校の方であげていなかったということがあったのかもかもしれません。
- 学校教育課長 P.6「たくましい体の育成」「倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成」
(資料に沿って説明)
- 学校教育課長 P.7「家庭・地域と連携した開かれた学校づくりの推進」
(資料に沿って説明)
- 委員 学校支援ボランティアのへの地域住民の参加率が人数で出ていますが、比較がしにくいのではと思います。
- 学校教育課長 言われますとおり、当初市民全体からの参加率をと考えましたが、そうなるのと、微量となってしまう動きがよくわからないという事もあり、人数であげています。
- 教育長 市民に対する割合という事になると、参加率の方がよいのかも。
- 学校教育課長 (対象は)保護者だけではなく、市民の方にもお願いをしたいと思っておりますので、そこが微妙な所となっております。
- 教育長 この際なので、平成28年度からは、実施結果を参加率ではなく、人数で表した方がいいのでは。
- 学校教育課長 目標値は、人数で表しています。
- 教育長 そうなると「平成27年度には県全体の約3分の1を占めるまでになりました。」とあるのなら、何人と人数を記述してあった方がいいかと思うが、27年度の人数はいつ頃出ますか。

- 学校教育課長 27年度ですので、3月中には出ません。
- 教育長 26年度より、増えそうですか。
- 学校教育課長 だいたい同じような数字にはなるかと思いますが、今の所はわかりません。
- 教育長 わかりました。次、お願いします。
- 学校教育課長 P.8「家庭教育の充実」(資料に沿って説明)
- 実施はしてきておりますが、表中の「把握していない」という表現は、どうなのかと思っています。
- 教育長 そうですね。取りましょうか。
- 学校教育課長 P.8「特別支援教育の充実」(資料に沿って説明)
- 教育長 (表中の H25 と H26 の実施結果において) 個別の指導計画が 100%であるのに、個別の支援計画の方が 95%となっているのは、なぜですか。
- 学校教育課長 個別指導計画は学校が独自に作成しますが、個別支援計画の方は、保護者の同意が必要であり、本来は保護者が、小中高と持って行かれることとなっています。保護者と一緒に支援計画を積み上げていくのですが、いったん保護者にお返しをして、次の就学先へ持っていかれて、こういう事に気をつけないといけないのだという事を周囲に知っていただく事となる訳です。保護者の同意なしでは作成できないものとなっています。一部の保護者の方から同意いただけないという事があり、このような数値になっています。この支援計画がきちんとしてできれば、関係機関と連携が取れ、支援の充実に繋がっていくことと思っています。
- 学校給食センター所長 P.9「給食の充実・食育の推進」(資料に沿って説明)
- 教育長 P.35に「食物アレルギー対応の実施」があがっていますので、ここにも「食物アレルギー対応の必要な児童生徒が増えてきている」事をあげておきましょうか。
- 学校給食センター所長 わかりました。
- 生涯学習課課長補佐 P.11「社会教育に関連して」「生涯学習活動について」(資料に沿って説明)
- 生涯学習課課長補佐 P.12「青少年育成・家庭教育について」(資料に沿って説明)
- 教育長 だいぶ中学生のあたりは頑張ってきていると思いますが、高校生のあたりは抜けてしまっているのではと感じています。
- 委員 高校生のあたりですね、うちを見ていても学校と部活動だけでいっぱいだという感じがします。小中学生の時には地域の運動会に参加もできますが、高校生になると参加も難しくなります。また、選挙権が18歳になるという事もありますし、学習する場に参加できるようになるといいですね。
- 教育長 そうですね。選挙権のことも加わってきますし、ますます必要ですね。
- 生涯学習課課長補佐 P.13「公民館活動について」「体育・スポーツについて」(資料に沿って説明)
- 教育長 この「体育・スポーツについて」の前段が全国的な流れの内容になっていますが、倉吉の中ではということで、陸上競技場、武道館、野球、温水プールなど随分修繕をしてきましたし、利用し易くなったと思います。
- 委員 施設整備もですが、指導者の育成とか若い人の参加しやすい環境づくりも必要ではと思います。地区の行事を見ても、スポーツ教室とかどんどんなくなり、参加の機会も少なくなり、比較的、子どもとか定年後の人の参加は結構あると思いますが、それ以外の年代の方の参加が少ないように思います。
- 文化財課長 P.15「文化財の保護と活用について」(資料に沿って説明)

- 教育長 用語の問題で、文化財なのか、歴史文化遺産なのか、よく文化財と言っていますが、表現の整理が必要では。
- 文化財課長 後の部分 P. 46 では、歴史文化遺産（文化財）としていますので、こちらの方を先にもってきた方がいいでしょうか。
- 博物館長 文化財の中には、天然記念物も入りますから。歴史文化遺産=文化財という事でもありません。
- 教育長 少し整理をしていきましょう。
- 委員 伯耆国分寺跡は 26 年前に策定されたのですね。調査の進み具合等、よくわからないというか、なかなか目に見えていない部分があるように思うのですが。
- 文化財課長 お話しのとおり、なかなかわかりにくいところがあるかと思いますが、調査はこつこつと続けており、道路を移動して区域をはっきりわかるようにしたり、楼閣を建て直したりして目に見える整備にできたらと考えています。来年度しっかり計画を立てて行っていき、次の 5 ヶ年では具体的な形にしていきたいと思います。
- 教育長 国庁整備計画の見直しということで、施策の方では、既設道路の移設や、整備区域を確定させることがあがっておりますね。
- 委員 お客様が来られた際に案内したことがありますが、はっきりと説明できる物がないように思いました。せっかくの貴重な物ですから。
- 委員 私も子どもを連れて行った事があるが、どう説明したらよいかわかりにくかったですね。
- 委員 ミニはあるけども、それを見て現実の物として思い浮かべることが難しいのではと感じました。
- 文化財課長 いずれにしても、史跡としては日本有数の物でありますし、これをしっかり整備し、具体的に見えるようにして市の活力に変えて発信していく。良い素材でありますので、この 5 年間かけて整備していきたいと思います。
- 委員 地域の歴史を学ぶ講演会などには、地区外からもたくさん参加されていますし、興味のある方はたくさんおられると思います。おもしろい話も聞けますし、発信の仕方を工夫していくことが大切だと思います。
- 文化財課長 ここで、PR させていただきますが、1 月 30 日には山上憶良の講演会で教育長が講演しますし、平成 28 年度には、図書館と共に国庁関係のシンポジウム、演劇を開催する予定としております。ハード整備とソフト戦略を合わせてやっていき、他も含めて一気に売り出していけたらと現在研究中です。
- 博物館長 P. 16 「博物館について」(資料に沿って説明)
- 図書館長 P. 17 「図書館・交流プラザについて」(資料に沿って説明)
- 教育長 利用者の数字が落ちているのが気になりますね。
- 委員 それに最近、施設(図書館)を見て、特に建物の外壁の汚れが目立つように感じますので、早めに修繕していった方がよいかと思います
- 委員 交流プラザの利用が落ちてきているとありましたが、私たちが利用するのも、未来中心の方がほとんどです。なぜかと言うと、小さい子どもと一緒にいくとなると、託児ができる所を優先に探します。飲食ができたり、畳の部屋がある所が使いやすいので、未来中心の方を多く利用しています。
- 図書館長 交流プラザの方にも託児室はあるのですが、保護者同伴で遊ばせるスペース

になります。

- 委員 託児は、シルバー人材センターにお願いしています。
- 委員 研修会等で利用される方もおられるのですね。
- 図書館長 はい、研修会等で利用される方はたくさんおられます。
- 委員 私も会議で利用するとなると、未来中心の方ばかりで、交流プラザの方も利用できるということがあまり知られていないのでは。やはり、PR 不足があるのではないのでしょうか。
- 委員 例えば、利用申し込みの電話を受けられた際、職員が両方の施設の利用説明ができると、利用されたい方は選択することができますし、探しておられる方はいろいろな情報がほしいと思っておられますので、利用申し込みの際の仕組みを工夫することも必要かと思います。
- 教育長 PR 方法も含め、そのあたり、研究していきましょう。
- 教育総務課長 P. 19「教育理念・教育目標」(資料に沿って説明)
P. 21「重点施策」(資料に沿って、各担当課長、所長説明)
- 委員 以前はいろいろな物があったと思いますが、今 B&G は、カヌーしかありませんか。
- 生涯学習課課長補佐 はい、秋に高校総体の自転車競技がありますので、自転車での活用もできないかどうか研究している段階ですが、今はカヌーだけです。
- 委員 講演会の持ち方ですが、会議室での講演会となると敷居が高いように思います。例えば、夕食後に街中カフェでお茶を飲みながら気軽にいろいろな話を聞けるような講座があればいいかなと思います。若い世代も仕事が終わってから行けるようなものも入れていただけたら。
- 博物館長 公的なものは、日中に開催されるものが多いように思いますので。
- 博物館長 講座としては、土・日・年代層によって、いろいろ開催しています。
- 委員 今度、皆さんに集まっていたき、自由に昔の話をしていただく中で、聞き取りをしていく、「昔語りの会」を開催してみたいと思っています。
- 委員 例えば、休みなどに、ボランティアで話をしていただくようなことができるのですか。
- 博物館長 なるべくお受けしたいと思ってやっていますが、ボランティアガイド養成講座とかもありますので、ガイドの育成も進めていきたいと思っています。
- 教育長 P. 52 の、学校計画訪問の前に「公民館の視察意見交換」とか「計画訪問」を追加お願いします。
- 教育長 P. 55 の、下から 3 行の所は、市としては、教育大綱の方が上位となりますから、振興基本計画の策定を市長が決定して進めていくということがわかるような図式が、次回できたらと思います。

(3) 倉吉市立小学校の適正配置推進計画(案)について

- 教育長 それでは、**小学校の適正配置推進計画(案)**について、説明をお願いします。
- 教育長 こちらについては、非公開で行う事としたいと思います。いかがでしょうか。
(各委員異議なし)・・・承認
- 教育長 では、そのように扱うこととし、これより非公開とします。
以下非公開とする

6 報告事項

- 教育長報告（教育長 別紙のとおり）
- 教育総務課（教育総務課長 資料に沿って説明）
 - (1) 工事請負契約の締結について
- 学校教育課（学校教育課長 資料に沿って説明）
 - (1) 区域外・校区外就学の承認について
 - (2) 不登校・問題行動の状況について
 - (3) 教育委員会臨時会・平成 27 年度卒業式・平成 28 年度入学式の日程について……
- 生涯学習課（生涯学習課中宇地課長補佐 資料に沿って説明）
 - (1) 平成 28 年倉吉市成人式の実績について
 - (2) 平成 27 年度スポーツ表彰及ふるさと大賞推薦について
- 文化財課（文化財課長 資料に沿って説明）
 - (1) 県指定保護文化財「小川家住宅」・県指定名勝「小川氏庭園」の指定書、登録有形文化財「矢城家住宅主屋」の登録証の授与式について
- 倉吉博物館（倉吉博物館長 資料に沿って説明）
 - (1) 倉吉博物館協議会委員の委嘱について
 - (2) 第 10 回 自然ウォッチング「小鴨川の水鳥をみよう」事業報告
- 倉吉市立図書館（図書館長資料に沿って説明）
 - (1) 新企画 お正月に本の福袋
 - (2) ヘルスアップ！ 医療・健康コーナーを新設
 - (3) 第 60 回倉吉文芸受賞者を決定
 - (4) 平成 27 年 12 月倉吉交流プラザ・ふれあい広場利用状況
- その他
 - (1) 倉吉町並保存会作成カレンダーについて（別冊）

7 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成 28 年 2 月 24 日（水）午後 3 時

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室

午後 5 時 終了